

# よいや～の風にのって



——令和7年5月25日(日)No.6——校長 東原 宏章——

「つくり上げる」(閉会式:校長の話より)

この運動会という大きな行事を、1年生から6年生の皆さんと一緒に創り上げてきた中で、私は、皆さんのことがこれまで以上に好きになりました。皆さんのことを誇りに思っています。

この思いは、今日、さらに高まりました。

何よりもあなたの「耳が素晴らしい。」あなたは、今もしっかりと私の話を聞いています。

そして、「目も素晴らしい。」頑張る友達を応援するときの優しい目、温かい眼差しは実にさわやかでした。

もちろん、「口も素晴らしい」。口をきりっと一文字に結んで、最後まで走り抜けるあなたの姿は、あきらめない心、やり遂げる思いを表していました。

さて、運動会というこの行事は、何日も前から準備をして、練習を重ねて全校の仲間とつくり上げてきた行事です。決して一人ではつくり上げることができない大きな大きな行事です。

今、あなたの隣には、そして前には、この大きな行事をともにつくり上げてきた大切な大切な仲間が座っています。

運動会を終えてみて、学級や学校の仲間を大切に思う気持ちが、少しばかり、大きくなっているのではないのでしょうか。今、あなたの心の中で大きくなっているその気持ちと正直に向き合い、来週からの学校生活でも、仲間を大切に、仲間とともに新たな学び、新たな暮らしをつくり上げてほしいと強く願っています。

さて、さて、運動会は学校の行事ですが、私は地域の行事であるとも思っています。この運動会を成功させるためにたくさんの地域の方々、来賓の皆さまが御協力くださいました。学校からは離れたところで、駐車場や交通整理をしてくださった地域の方もいらっしゃいます。

何日も前から準備や話し合いをしてくださり、今日は、お茶を配ってくださったり、写真撮影をしてくださったりしたPTAの方々もいらっしゃいました。

高城台っ子の皆さん、地域の方や保護者の皆さんへの感謝の気持ちをしっかりと心に留め置いてください。

最後にもう一度、私は、皆さんのことがこれまで以上に好きになりました。みなさんのことを誇りに思っています。

